

平成29年9月29日

三次市長 増田和俊様

三次市行政チェック市民会議

会長 森邊成一



地方創生交付金事業の効果検証について

当市民会議は、平成29年8月31日に会議を開き、三次市が平成28年度に実施した地方創生交付金事業の効果検証に係る外部評価を行いました。

評価結果については添付のとおりです。

<三次市行政チェック市民会議>

会長 森邊成一

副会長 佐藤明寛

委員 山田知子

委員 渡邊なおみ

委員 荒川弘行

委員 伊藤美幸

委員 古田達己

委員 掛田勝彦

委員 満重志津

(順不同)

行政チェック市民会議の評価結果

No.	事業名	事業の評価	評価理由
1	オール三次観光交流推進事業	有効であった	<p>重要業績評価指標（K P I）の2項目が目標値を達成しており，事業としては有効であったといえる。</p> <p>《附帯意見》</p> <p>指標の設定において，初期の目標値，指標自体が適切であったかについては，問題点を含んでいると認められる。</p> <p>具体的には，「滞在人口」を指標としていること，「外国人滞在者数」については，日本全体で外国人が増えている中，その伸び率がどうであったのかなど全体の比較が必要であること，また，三次版DMOについては，3月までの設立が達成できていないことが指摘できる。</p>
2	オール三次観光まちづくり推進事業	有効であった	<p>重要業績評価指標（K P I）の1項目が目標値を達成し，もう1項目も高い達成率を示しており，事業としては有効であったといえる。</p> <p>《附帯意見》</p> <p>観光客実態調査については，調査結果を踏まえて取組の改善を行うこと，三次版DMOについては，その機能・役割に期待するところが大きいので，適切に成立させること，また，観光消費額の拡大に向けて取組の充実を図ること，広島空港連絡バスの運行については，利用者の拡大に努め，費用対効果の面から採算性の向上を図ることについて，それぞれ取り組まれたい。</p>

No.	事業名	事業の評価	評価理由
3	「新三次“藩”物語」プロジェクトによるにぎわい再生事業	有効であった	<p>重要業績評価指標（K P I）の1項目が目標値を達成し、もう1項目も一定の達成率を示しており、事業としては有効であったといえる。</p> <p>《附帯意見》</p> <p>指標の設定において、初期の目標値、指標自体が適切であったかについては、問題点を含んでいると認められる。</p> <p>また、「新三次“藩”物語」のイメージがつかみにくいため、めざす姿の全体像を示し、市民とのビジョンの共有化に取り組まれない。</p> <p>あわせて、三次版DMOが舵取り役となりながら、観光客が酒屋地区で完結せず、三次地区へ周遊することを戦略的に促進されたい。</p> <p>さらには、空き家等を活用する「エリアリノベーション」や「まちなかギャラリー」整備をはじめ、三次地区の特徴を生かした取組の展開や仕組みづくりを進め、リピーターの増加や滞在時間の延伸に取り組まれない。</p>